



実家のそば屋で働き始めて8年になるそうで「うちの店はそばにこだわりのあり、おすすめはざるです」と清々しく話してくれた冨太朗さん。
「井いめに商売をしていく中、お客様から『うまい』の声が聞こえると気持ちがよく満足して帰る姿を見ると、この仕事をやっていてよかったと思います。自分に向いている仕事だと実感しています」と語ってくれました。
そばをゆでる姿からも情熱がみえる冨太朗さん。今日も根橋屋では『うまい』と舌鼓がきこえてきます。(5月1日 手打そば根橋屋にて)



働姿
シリーズ

唐沢そば集落を守る

根橋 冨太朗さん(下竹田)

告知板

B&Gプール アルバイト募集

- 期 間** 6月30日(土)～9月1日(土)
(事前の土曜日もしくは日曜日に、3時間程度の救命講習を消防署で実施しますのでご了承ください。)
- 内 容** プールの受付・監視・清掃ほか
- 時 間** 午前9時から午後5時(シフト制)
また、平日のみ、休日のみ、夏休み中のみ等、相談に応じます。
- 時 給** 840円
- 資 格** 高校生以上の健康な方
- 申込み** 6月8日(金)までに教育委員会(98-3155)へご連絡ください。

大日堂例祭 4/21(土) 22(日)



参道の芝桜が今年もきれいに咲き誇った小坂大日堂。
参拝に訪れる地元の皆さんと、ポップコーンや綿あめをもらって喜ぶ子どもたちの姿がありました。

八幡神社例祭 4/28(土) 29(日)



宵祭りでは、祭り中による餅投げやビンゴ大会で、境内は盛り上がりつつありました。
翌日の本祭りは、汗ばむ陽気の中、子ども神輿が地区内を元気に練り歩きました。

建部神社例祭 5/12(土) 13(日)



地元の彌磨太鼓と松本城のおもてなし隊として活躍している登久姫の競演や、ビンゴ大会で盛り上がりを見せた宵祭り。水神様のお祭りらしく、本祭りは恵みの雨が降りました。

見性寺 本堂落慶式

4月21日(出)、昨年10月に本堂の改築工事が完了した上竹田の見性寺で落慶法要が行われました。約300年ぶりに建て替えられた本堂の完成を祝い、参道を稚児行列が練り歩く姿も見られました。



清水寺修復工事竣工式 八十八夜例祭

5月2日(水)、清水寺にて本堂・円通門屋根修復工事竣工式と八十八夜例祭が執り行われました。

昨年11月に修復工事が完了し、赤いトタン屋根から銅板ぶきに装いも新たになった本堂で竣工式が開催され、今回の工事に支援いただいた京都清水寺の森清範貫主や、工事関係者の方々に清水寺保存会の山口隆也会長から感謝状が贈られました。続いて行われた八十八夜例祭では、本尊の千手観音菩薩像が御開帳され、ここ清水寺から京都清水寺の大西良慶元貫主へ嫁がれた真澄様より寄付された木魚も披露されました。



山すそ

館報編集部も、4月から3名の新メンバーを迎えた。先輩部員の引退により、気が付けば最年長部員となっていた私。今までは頼りになる先輩に甘えていた部分もあったが、今年は逆に頼られる存在に変わらねばと気を引き締め編集部活動に臨みたい▼「かわる」と言えば、『平成』の元号が使われるのも残り1年を切り、来年の5月からは新元号に替わる。昭和から平成となつた当時、私は高校3年生で新時代の幕開けとともに、大人の階段を登り始めた頃を懐かしく思い出す▼日本最初の元号は「大化」で、新元号は248番目に当たることになる。これまでの元号に使われた漢字はわずか72字で、そのうち21字は10回以上使われていて、最も多いのは「永」の29回とのこと▼今後は新元号が何になるか、国民の関心も高くなると思う。そこで、私も新元号を考えてみた。次の時代が安心して豊かな世の中であることを願って『安豊』。なかなかいい感じ(漢字)だと思いませんか？

図書館からのお知らせ

山形村図書館のホームページが
いま、おもしろい!

みなさん、図書館のホームページ
がおもしろくなっていること、知っていますか?

新着本もチェックでき、こんな本あるかな?という本探しもできます。この本読みたい!となったら予約もできるし、「予約本が用意できました」とメールを受け取ることもできます。パスワードの登録が必要ですが、図書館でも一緒にお手伝いしています。

今年からは、地域おこし協力隊の坂野さんのおかげで図書館イベントのチラシやイベント報告も見られるようになっていきます。ぜひのぞいてみてくださいね。

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK

No.35

編集＝山形村図書館



「自然観察クラブ」始めます 春の野山でおいしいものがし

今年の図書館企画は図書館から外へ飛び出します。アカアの会の

上條一則さんを講師に、「自然観察クラブ」として年4回の活動を計画しています。親子で山形村の自然に親しんでほしい、本を読むだけではなく直接体験を大切にしたいという思いから始めました。

第1回目は「山菜を採って、おいしく食べよう」。4月30日(月)、なろう原公園に30人の親子とアカアの会の会員が集まりました。まず上條さんから、なろう原周辺で採れる山菜や野草を教えてもらいま

した。タラの芽、コシアブラ、ホウの木の花芽……。自分で探したい子どもたちはウズウズ。それでは上條さんを先頭に、山菜採りに出発です。

公園の周りにも食べられる野草がいっぱい。タンポポ、ハルジオン、ヨモギにノビル。日当たりのよい斜面にワラビも見つけました。少し林に分け入ると、民家の生垣にもなっているウコギがみずみずしい葉を茂らせています。足元にはシオデやヤブカンゾウ。酢味噌和えが最高!とのこと。

今年の春はあたたかい日が多くて、山菜の時期としては遅いようでしたが、タラの芽を発見した目利きもいて大いに盛り上がりしました。自分の収穫はお土産にして、上條さんが事前に採集してくださった山菜をてんぷらにしました。初めて食べる山菜もあり、「香りがいいねえ!」「モチモチしてる」と歓声を上げながら

ら味わいました。大満足な春の日でした。

自然観察クラブはこの後も「夏のピオタープ」「秋のたき火」「早春の野草つみ」を計画しています。お楽しみに!



私のこの一冊

図書館利用者 西元美保子

『3時のアッちゃん』

柚木麻子(双葉社)

この本は、表紙が可愛いなと思いい読んでみる事にしました。「アッコちゃん」という強烈キャラクタが主人公のお話です。仕事で落ち込んでいた後輩や他人にまでも、ビシビシと意見し、こう思ったら即行動の人。読んでいるうちにアッコさんにすっかり魅了されてしまいました。また明日から仕事がんばろうと思わせてくれる、元気をもらえる本です。

サクサクと読めますのでみなさんも手に取ってみてはいかがでしょう。ちなみに続編も出ていますよ。



おすすめ新着本紹介

『どうぶつクイズ教室』

あべ弘士(クレヨンハウス)



旭山動物園の飼育係として働いていたあべ弘士ならではの、動物についてのクイズ約100問!これであなたも動物博士です。

『きつねどん』 洞野志保・再話

(ブリケン出版)

きつねどんは、いろいろな動物

の家に泊まっ

は、持ち物が盗

まれたと嘘をつ

きます。クマの

家に泊まった翌朝、キツネどんがもらったものは?ハンガリーの民話です。

『農家が教える梅づくし』

農文協・編

「黒焼き梅」

「梅発酵液」の

作り方から、加

工の技、梅の栽

培法までを紹介します。今年はいつもの梅仕事が進化するかも?!



『ざれど愛しきお妻様「大人の発達障害」の妻と「脳が壊れた」僕の18年間』 鈴木大介(講談社)

脳梗塞により高次脳機能障害になった夫は、

「家事力ゼロな

発達障害の妻」の苦労を身をもって知ることになりました。涙あり、笑いありの日々をつづります。



『わたしの忘れ物』

乾ルカ (東京創元社)

大学学生部から無理やり紹介され、忘れ物センターでアルバイトをすることになった恵麻。6つの忘れ物を巡る心優しい物語です。



体連絡協議会

系のクラブを紹介します～

(Part 1)

フラサークル

私たちは、ハワイの伝統芸能のフラを学びながら、体を動かし頭の体操と仲間作りで楽しく活動しています。

なかなか覚えられずに苦労したりもしますが、その曲を間違えずに最後まで踊れた時は爽快です。子どもクラスのメンバーを募集しています。楽しく踊りましょう。



山形村史談会

昭和49年発足以来、45年の歴史を持つ。現在会員75名。

郷土の歴史を調査研究し、文化財の保護保存を計り、先人の残した貴重



山形村音楽クラブ

山形村音楽クラブは、昭和44年1月に活動を始め、来年50周年を迎えます。山形村文化祭、ミラ・フード館でのサングラ街道合唱祭、さくらの下コンサート、敬老会に出演します。長く素晴らしい伝統を伝承する為に、随時新会員を募集



山形村俳句クラブ

この句会は平成二年に発会し、五月の句会で三百三十六回となり



山形句会には宮坂静生主催の岳俳句会に参加しており、毎月第一水曜日午後一時三十分トレンセンにて、岳の指導者から選評を受け、生涯に残る一句を目指し努力しております。皆さん、句会に参加し自分の思いを句にしてみませんか？

家庭菜園の「コツ」

4月21日(土)、公民館と図書館の共同企画による「家庭菜園のコツ、教えます」講座が行われました。村内外から20数名の方が参加され、「裏技的なジャガイモの栽培」「キャベツのわき目を使った栽培」「酵素液の作り方」など、ビデオを使って分かりやすく解説していただきました。参加された方は熱心にメモを取り、斬新な手法が紹介されると驚きの声を上げていました。

また、図書館からは蔵書の中から家庭菜園にちなんだ書籍の紹介もありました。本年度は秋にも予定されているので、参加されてみてはいかがでしょうか？



オハナミプロジェクト



4月21日(土)、地域おこし協力隊の最初の企画としてお花見が行われました。今年は例年よりも早いタイミングで桜が開花してしまい、葉桜になってしまっていました。20数名が料理や飲み物を持ち寄って集まり、和気あいあいとした時間を過ごしました。

主催者の坂野さんは「今回のイベントは桜も散ってしまいい残念だった。コミュニティを活性化させ、次回はもっと盛り上げていきたい」と語ってくれました。



『村の子どもたちに楽しみを』と紙芝居上演を中心に昭和49年から活動が続けてきました。山形村の古くからの生活文化・文化財・偉人伝・言い伝えなどのクラブの先輩たちの手作り紙芝居とその思いを引き継いで、小学校、デイサービス等に出かけて交流させていただいています。

山形村民話クラブ「灯」

山形村文化団

～村内で活動している文化

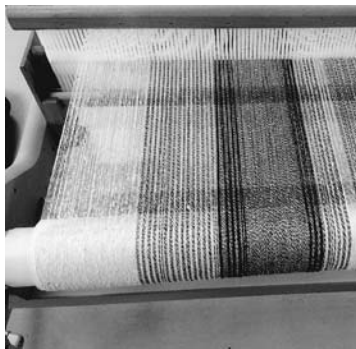
書道クラブ

私たち書道クラブは、昭和53年にできた歴史の古いクラブです。本庄日出子先生の教えのもと、書道の好きな6人の仲間と楽しいひと時を過ごしています。現在は、仮名を月1回トレセンで、それ以外の書道の勉強ははげみ塾で行っています。



機織教室

平成14年4月から始まり、16年が過ぎ腕前はそれなり？毛糸・綿・シルクを裂いた布地を使い、マフラーやバッグ、服に加工したりと、各自オリジナリティに富んだ作品作り、失敗は無く味とした表現が気楽で魅力的です。毎週第2の水木、第3の土曜日に活動しています。興味



のある方はぜひ見学しに来てください。

川柳あららぎ



川柳あららぎ（会員12人）はフリーな発想で句作りができる楽しい会です。一瞬の笑い、一服の清涼剤がテーマ。特に講師はおりません。宿題を5・7・5にまとめ、月例会で競い合う。こつけない、機知、風刺、時事、ダジャレ……生活句中心に会場は笑いのウズ。仲間になりませんか。

子どもを育てる

シリーズ ⑬

幼児教育の基本

(1) 健康・安全で幸福な生活のための基本的な生活習慣・態度を育てる。

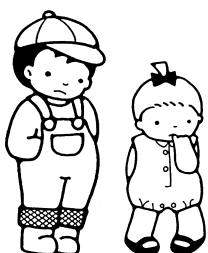
○人見知り

見慣れぬ人に恐れを感じて、母親にしがみつくのは、母親を信頼できる人としての認識ができていないから。もし、人見知りしない子がいたとすれば、それは母子間の情緒的関係が成立していないからであって、子どもにとって信頼できる存在を持っていないことになるので、人見知りが現われるまで、身体接触を中心とした母子関係づくりが必要となります。もし、誤って「独立心のあるよい子だ」と評価すると、情緒の発達に停止し、情緒不安定となり、後に、様々な異常行動をなす原因となり、落ち着きなく、攻撃的になったりして、将来家庭離れの子になりやすい。

幼児は技術的に稚拙なので、多少不手際なこともあっても、それを許していかないと、3歳以降の外生活で強い不安を招くようになります。

特に、完全主義の母親だと、子どもの不完全な行動を許すことができず、子どもを非難して自信を失わせたり、母親がすべてに手をかけることにより、親に依存する子になつてしまいがち。要は、失敗しても気長にします。

(2) 人への愛情や信頼感を育て、自立と共同の態度や道徳性の芽生えを養う。



スポーツの春

厳しい冬が明け、体を動かすのが楽しい季節になりました。各地でスポーツに関するイベントがめじろ押しです。

早起き野球 ナイターソフトボール 合同開会式

4月21日(土)、トレーニングセンターグラウンドにて、早起き野球連盟とナイターソフトボール連盟の合同開会式が行われました。両連盟の代表者がそれぞれ選手宣誓を行い、今年の熱戦を約束してくれました。



熱戦を誓います！

式後の開幕試合はリーグトップクラスのチーム同士という好カードが組まれ、手に汗握る攻防でギョーリを魅了していました。今年も熱くなりそうです。



いざ勝負!!

分館スポーツ大会

今年も各分館で春のスポーツ大会が行われました。

上竹田(4/15)

優勝 チームたけし
準優勝 さわやかBoys
第3位 ビッグパパ



楽しい～

近年、スポーツ大会参加者が減少していることは各分館共通の悩みです。今回、上竹田分館は「特別な技術や体力を必要としない、誰でも気軽に参加できる大会にしたい」という目標を掲げ、競技内容・実施方法を刷新しました。

- ・競技：ミニゲーム7種(カローリング、ラダーゲッター、スカットボール、スポーツ吹き矢、ボッチャ、フライングバードゴルフ、クロリテイ)
- ・合計得点を競う
- ・参加単位：ご近所の仲良しグループ、家族など

結果、32チーム128名の方々に楽しんでいただくことができました。取り組みは大成功だったのではないのでしょうか？

小坂(4/29)ソフトバレーボール
男子 優勝 上中原
準優勝 山口

女子 優勝 本殿上/堂村下
準優勝 中原町
第3位 山口



下大池(5/5)ワンバウンドふらばるバレー
優勝 仲町A
準優勝 橋爪東B
第3位 仲町C



中大池(5/6)ワンバウンドふらばるバレー
男子 優勝 野際
準優勝 中村B
第3位 下村東

女子 優勝 野際
準優勝 上手東
第3位 中村



上大池(5/13)ワンバウンドふらばるバレー
優勝 久保
準優勝 中耕地東
第3位 中耕地西



襷に託す想い 市町村対抗伝

4月28日(土)、第28回長野県市町村対抗伝が開催され、55市町村の代表が健脚を競いました。アスファルトからの厳しい照り返しが選手の体力を奪い、棄権や繰り上げスタートもありましたが、山形村代表の9名は襷を懸命に繋ぎ31位でゴールしました。



あとは任せた



(敬称略)

おめでた(子・親)

清水望乃莉・義治・中大池

勝山 莉羽・亮

堀内 春・旭・上大池

おくやみ

小林 武夫・84歳・小坂

竹野 輝子・84歳・上竹田

小林 瑞子・88歳・小坂

奥原よし子・95歳・小坂

小口やよい・98歳・上大池

上條 輝子・92歳・上竹田

池上 隆子・72歳・中大池

同日、第14回同小学生伝競走大会も行われました。63市町村の代表4名がリレーで約6kmのコースを走り、山形村代表は村の部で見事1位(総合5位)となりました。



おめでとう！

5月8日(火)、戦没者や満蒙開拓団として海外へ移住し亡くなられた人々への合同慰霊祭が行われ、遺族ら約70名が参列しました。清沢實視遺族会長は、御霊の冥福を祈るとともに「非核化を進めたり、戦争のない世界を築くことが何よりも大切です」と挨拶をしました。



慰霊祭

戦没者たちへの
祈りを捧ぐ



やったぜ！優勝

5月5日(土)・6日(日)、筑北村サッカー場で第2回筑北村長杯・G A V I C 杯が開催され、山形少年サッカークラブの6年生が出場しました。

前日の埼玉遠征の疲れも見せず2日間全力で走り抜きボールを追いかけた結果、6チームによるリーグ戦を見事に全勝し、優勝を成し遂げました。この優勝で自信を得た子どもたちの、今後の成長が楽しみです。

里山学習結団式



4月27日(金)、みどりの少年団の結団式が行われました。山形小学校4年生の生徒が同校視聴覚室に集まり、「緑の誓い」で自然を大切にすることを誓いました。また「学校の歴史について」「気を付ける山の植物について」「学校林に住む動物について」などのお話を村の林業委員の方からお聞きしました。写真を見ながら鳥の名前を当てるクイズでは、積極的に発言し、楽しく学習しました。家の周りで見る木や鳥についても学習したので、ぜひお子さんに名前などを質問してみてください。

みんなの人権 ⑦

「K高校」…僕らの原点がここに

～「母校愛」と「ふるさとを想うところ」、そして人権学習の不易と流行

優の風景 26

葉校の季節を迎えた4月中旬のある日、かつて勤務したK高校で「母校愛のリレー」なる催しが開かれました。

この催しは、卒業30周年を迎えた同校のOBたちが、自身のかつての高校生活や卒業後の人生体験を踏まえて、現役の後輩高校生たちにメッセージを贈るといって、代々受け継がれてきた記念事業です。

今年は昭和63(1988)年3月に卒業したOBが、その任を負う順番となり、小生も旧担任団のひとりとして、なつかしい教え子たちのミニ講義を、在校生と一緒に拝聴する機会を得ました。

奇しくも「昭和時代」の締めくくりに高校生活を送った教え子たちの代表4人が、「平成時代」の締めくくりに遭遇している現役高校生に贈ったエール、その共通テーマは「K高校四重奏」昭和最後の卒業生から平成最後の君たちへ。

運動生理学の研究者、ジャーナリスト、看護師、公務員と、様々な分野で活躍する彼らの、30年前の青春時代の思い出や、その後の人生行路の紆余曲折から読み出る講義に聴き入りながら、当時の自身の授業に思いを馳せていました。

当時、高校社会科に新しく誕生した科目「現代社会」。そこでは、「食卓にのるバナナや海老と東南アジアの問題」「木材輸入とアジアの森林」「ジャバユキさんと日本経済」と言った、具体的で身近な「現代社会の諸問題」が、教材として授業の俎上に載せられ、生徒の関心や問題意識も高いものがありました。

その授業での学び合いは、数年後の生徒たちによって、自分たちの足で授業内容を実際に確かめてみたいという声になって、文献研究や町に飛び出しているフィールドワークに広がりを見せました。彼らは、夏休みなどを利用して、部落差別についての聞き取り調査、養護学校での体験学習、戦時中の地下工場跡の調査等、今に通じる「基本的人権に関わる課題」についても学習を深め、文化祭などで、地域や全校生徒に広く問題提起してくれました。そして、次の学問世界にたくましく飛び立って行ったのでした。

さて、「昭和時代最後の卒業生」の文化祭テーマは「K高校…僕らの原点がここに」。卒業後30年間に遭遇しただろう「人生の荒波」を乗り越える時、「母校K高校」が、幾ばくかでも「この盾(シールド)」になってくれたのだらうかと思ひながら、ミニ講義に聴き入っていました。「ふるさと」「山形村」も、山形つ子たちの将来の「この盾」として、彼らの心の片隅にあつてくれたら」と念じています。

(H30・5 M・H記)



健康の秘訣は… 毎月のバランスボールと その後の茶話会よ♡

バランスボール
クラブの皆さん



絆

KIZUNA



友人の紹介で初めて参加された方もいたようで、程よく体を動かすことはもちろんですが、話し仲間が作れるとても良いクラブだと感じました。

以前は中信健康友の会の班活動のひとつだったバランスボール教室。今ではその枠を超えて20名以上の仲間が月1回のペースで活動しています。

毎回、全員が運動前に血圧と血糖値の測定をしているように、取材に訪れたこの日は、体組成計を使って体脂肪や筋肉量などのチェックも行いました。

頭や脇、足などのリンパマッサージ、肩甲骨や足のストレッチをした後、バランスボールを使い曲に合わせて体を動かしていました。約1時間運動した後はお楽しみ(?)の茶話会。



ここ か
原田 心花さん

下竹田

(中3・やぎ座)



なる み
竹野入成実さん

上竹田

(おうし座)

悔いのない
中学生を送りたい



仲間と楽しく



卓球部の副部長を任されている心花さん。6月の部活動最後の大会に向けて、仲間と共に頑張っています。声が大きいということもあり、1年の時から体育応援委員に所属。全校生徒の前で応援すること多かつたため、度胸がついたそうです。

「部活はもちろんだけど、あまり好きではない勉強も好きになれるように頑張りたい」と、志望校に行けるよう、勉強にも前向きです。

将来の夢はヘアデザイナー。多くの芸能人のヘアセットをする人になりたいそうです。

小学校時代から始めた野球を今もなお、色々なチームで続けている。山形キヨミズ時代、鉢盛シニア時代、都市大塩尻高校時代の先輩や仲間と今でも野球が出来るのが嬉しいと話す。「恵まれた環境があるからこそ、好きなことをさせてもらっている。本当に感謝です」と笑って答えてくれました。

社会人になって3年目。責任を持つことの重要性を知り、まだまだ学ぶことがたくさんある中で、人の役に立てる人間になればと日々勉強だそうです。